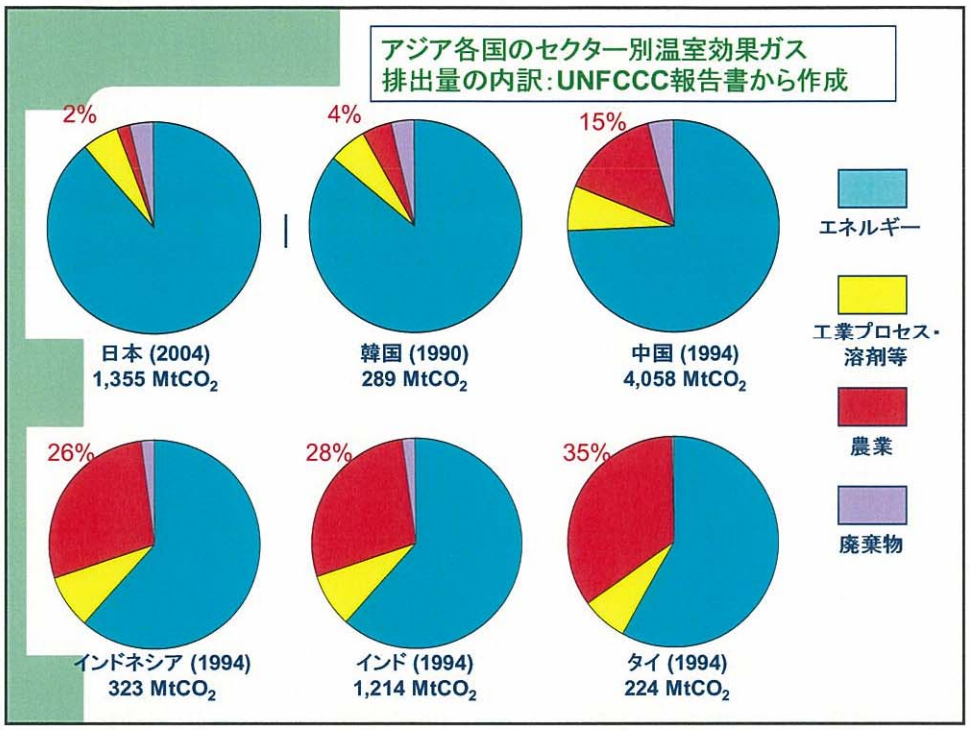

わが国は何をやっているのか？！

- 議定書を離脱したアメリカすら、07年11月に企業にCO2削減を義務づける法案を上院小委員会で可決。
- イギリスでは、2050年までに1990年度比でCO2を60%削減する法案を政府が発表。
- 他のヨーロッパ諸国も研究などに予算を投入。
- わが国には、長期的な削減目標なし、キャップ＆トレード型の排出量取引市場なし、炭素税の投入なし。経済界も消極的。せいぜい企業の自主的な取り組み。その後、何かあったでしょうか？

われらは何をすればいいのか？

- 炭素を土壌に返す。
- 全身全霊を傾けてエコ商品を買う。
- 物理的欲望を下げる。
- 資源エネルギーの消費量を減少させる。
- 生産・流通・消費の全体にわたるクリーン化。
- CO2の他に、CH4とN2Oにも関心を寄せること。
- 政治家、マスコミ、国家の構造やシステムを批判することはともかく、自分が地球を温暖化させているという自覚。
- できたら、右肩下がりの経済を主張。
- 環境の輪の中に経済があるという思考。経済の輪の中に環境があるという思考は即座に捨てる。

温暖化と文化

- 美しい景観の喪失
- 居住地域の共同体の喪失
- 風習の変質
- 生物多様性の喪失
- 音楽、詩歌の変貌
- 科学の示す数字でない精神世界の危機
- ブータンの悲劇